

## 小学校の通常学級における 支援の実際

～重なり合う支援をめざして～

北九州市立萩ヶ丘小学校 大谷 良子


### 萩ヶ丘小学校の紹介



- ・学校教育目標  
『心ゆたかで たくましく  
元気に 生きる 子どもの育成』
- ・児童数 400人
- ・学級数  
特別支援学級(知的) 1学級  
通常学級 13学級
- ・とても広い校庭があり、子どもたちは毎日元気に過ごしています。

### 萩ヶ丘小学校の支援体制

- ・ 教室における「特別な配慮」  
・ 授業及び他の教育活動中で行う
- ・ 学校としての支援体制  
・ 個別の指導時間の確保  
・ 学習支援員の配置  
・ 特別支援学級「ひまわり」との連携  
・ 通級「言葉の教室」との連携
- ・ 地域の専門機関との連携  
・ 教育相談・発達障害者支援センター・療育センター・子ども総合センター



3つの支援が重なり合うように、支援していくことが大切




### ～学級開き～ 3日間で学級を組織する

#### 1. 教師の方針を示す

学校が楽しい子が  
いっぱいいるクラス。  
そのためには  
お互いを大切にしよう。

- ① いじめは絶対に許さない
- ② 男女関係なく仲良くすることが大切
- ③ きまりを守ることが大切。  
みんなで生活しているので  
守らないと暮らしにくい。

具体的に伝える  
1年を通して言い続ける  
指導の基準を伝える



#### 2. 学級のルール作り

- ・ 持ち物の、きまり。持ってきてよいものと、いけないものは何か。
- ・ 忘れ物をしたときは、どうするのか。
- ・ 給食のおかわりや、残す時はどうするか。
- ・ 席替えはどのようにするのか。

学級持具の管理表


名前	
学年	
持ち物	
返却日	

通級級の管理表

名前	
学年	
持ち物	
返却日	

教科で必要なもの

教科	
持ち物	
返却日	



(ルールの一例)

### 3. クラスのしくみ作り

当番を決めて、掲示。終わった札を黄色にする。



日直の仕事は、内容が書かれたカードを作って、当番の机の横や、教室の壁にかけておく。①から⑥まで終われば、下校できる。

#### 日直の仕事

- ① 日付・明日の予定を書く。
- ② 給食票板を書く。
- ③ 机と椅子を整理する。
- ④ 鉛筆削りをきれいにする。
- ⑤ 戸じまりの掃除をする。
- ⑥ ゴミをほうきで集める。



### 4. 授業のやり方を学ぶ

- ・発表の仕方、ノートの書き方、話の聞き方
  - ・ルーティンを取り入れる。
- 机の上は、「今、使うものだけ」に限定する。  
1年間を通して、授業の流れを変えず、ルーティンで行う。  
切り替えが苦手な人、スロースターターにとっては有効。
- ・楽しい授業でワクワク感をもたせながら、「話す・聞く」の指導を行う。
  - ・ざいご自己紹介。
  - ・「なぜですか」ゲーム。

机の上は、今使う物だけを置くようにする。



「話す・聞く」の指導は、始めの3日間が勝負!

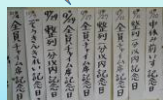
### ～年間を通した取組～

・ゴールを示し、達成したらお楽しみが待っている

ちくちく言葉を減らし、あったか言葉の花束を作るつ



記念日をためてみんなで遊ぼう。



小さな親切 一日一言 ビューズ大作戦



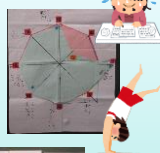
忘れ物キックキャンペーン

15日に1回の運命の日。お見合い、くじ引き、楽しい席替え。

### 学校としての支援

- ① 支援員の配置
- ② 通級指導教室との連携
- ③ 知的の特別支援学級「ひまわり」との連携
- ④ 個別の指導時間「ビジョントレーニング」
- ⑤ 学力補償

### ひまわり学級との連携



### 具体的支援の取組

#### ビジョントレーニングとは

『ビジョントレーニング』  
～発達気になる子の学習・運動が楽しくなる～  
北出勝也監修（ナツメ社）より



こんな様子が現れたら「視覚機能」の問題かも!

